

## 津田塾大学旧南門衛の実測調査報告

佐藤功一 津田塾大学 木造建築物

正会員 ○三宅奈美\*1 正会員 八木真爾\*2  
正会員 中川 武\*3 正会員 真鍋怜子\*4 正会員 伊藤瑞季\*5

## 1. はじめに

## 1) 目的

1931(昭和6)年に現東京都千代田区から東京都小平市に移転した津田塾大学の敷地内には、当時の建物が5棟(RC造3棟、木造2棟)あり、歴史的建築物による印象深いキャンパス景観が形成されている。本稿ではこれらの歴史的建築物の一つである木造建築物「旧南門衛」(以下 南門衛)の実測調査の結果を報告する。南門衛は同敷地内の本館・寄宿舎・教師館と同じ佐藤功一設計の可能性がある建物である。

## 2) 調査概要

調査日・調査組織・建築概要を表1に示す。調査は早稲田大学創造理工学部建築史研究室と佐藤総合計画の共同で行い、津田塾大学の協力をいただき、所蔵図面を中心に文献調査を実施した。

## 2. 既往図面

調査によって確認できた図面を表2に示す。図面に記載された内容から竣工当時の建物の状況が判断できるのは図面①②③⑦である。

## 1) 配置図

配置図(図面①)には3つの門(南門・正門・北門)が記載されている。門衛があるのは教師館エリアに繋がる南門(南門衛)と寄宿舎のエリアに繋がる北門(北門衛)であり、正門には門衛はない。

## 2) 平面図・立面図・断面図

「女子英学塾門衛住宅新築工事設計図」(図面②)には、昭和6年2月 工学博士佐藤功一 の記載がある。

## 3) 透視図

「女子英学塾教師館透視図」(図面⑦)には教師館第1~5号館の透視図とともに、南門衛、北門衛の透視図が描かれている。

## 3. 増改築と用途

## 1) 増改築の経緯

図面②③と後年作成された図面④⑤⑥と現地調査の結果を比較し、増改築の経緯を確認した。室名は調査時点に使用されていた名称を使用した。

へや2とへや3及びへや3とへや4の境界と、台所には以前の外壁と思われる小屋裏の妻壁が存在している。へや3とへや4の間の間仕切り壁内にガラスの引き戸が隠蔽されて残っており、へや4の増築前までの外部建具であると思われる。

へや1へや2と増築部分であるへや3のRC布基礎は一体となっており、北側外壁面は腰壁杉皮葺で既存へや1部分と仕上げ・意匠をあわせて増築している。

竣工当時の建物形状は図面③とほぼ等しいと思われるが、図面③では玄関側に張り出している便所が、現状では出ていない。

へや1の東半分は図面③では畳敷きで計画されているが、

Report on the result of actual measurement survey of "Kyu Minami Monci (Former South Gate Guard)", located in Tsuda College.



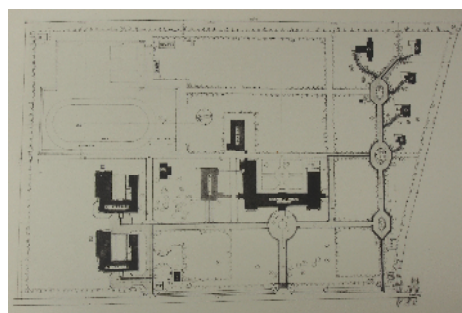
【図1 南門衛外観】 出展：参考文献4)

【表1 調査と建物の概要】

調査日	2012年5月22日(予備調査) 7月19日・20日、8月9日
調査内容	実測調査・写真撮影・文献調査
調査組織	早稲田大学創造理工学部建築史研究室 佐藤総合計画
名称	津田塾大学旧南門衛
所在地	東京都小平市津田町 津田塾大学内
建築年	1931(昭和6)年
主要寸法	東西16.31m(53.82尺) 南北8.33m(27.49尺)
面積	97.9㎡(29.61坪)
構造	木造平屋 コンクリート布基礎 柱杉角材
竣工時外部仕上げ	瓦葺 腰杉板張 腰上白色モルタル塗り

【表2 図面一覧】

	図面名称	作図年月
①	配置図	不詳
②	平面図・立面図・断面図	女子英学塾門衛住宅新築工事設計図 1931年2月
③	平面図・立面図	女子英学塾教師館側門衛住宅 不詳
④	平面図のみ	南門衛平面図 不詳
⑤	平面図のみ	南門衛平面図 不詳
⑥	平面図のみ	津田塾大学南門衛(第5倉庫)設計図 2009年10月
⑦	透視図	女子英学塾教師館透視図 不詳



【図2 配置図】(図面①) 北=左で表示



【図3 門衛住宅透視図 左:北門衛 右:南門衛】(図面⑦)

痕跡は確認できなかった。

## 2) 用途の変遷

門衛所として計画・使用された後、職員住宅、倉庫と用途が変

MIYAKE Nami YAGI Shinji  
NAKAGAWA Takeshi MANABE Reiko ITO Mizuki

更された。<sup>注1)</sup> それぞれ変更時期は不明であるが、大学管理課所蔵の書類によると昭和47年頃には職員住宅として使用されている。

#### 4. 平面計画と意匠

##### 1) 北門衛と南門衛

北門衛は南門衛と同時期に竣工した木造平屋の建築物(1999年解体)である。図面②⑦ではRC造陸屋根で計画されているが、完成時は構造・仕上げとも南門衛と同じ仕様になっている。

図面②から読み取れる平面計画は北門衛・南門衛共通して、北側に門衛室、南側に八帖和室、西側に厨房・浴室・便所、北西に玄関と、部屋の配置・規模ともほぼ現状の南門衛の当初部と同じである。<sup>注2)</sup> 北門衛・南門衛共通して、玄関から水周りや八帖和室への動線が確保され、門衛室は他の部屋から独立して使用できるようにになっている。

##### 2) 佐藤功一設計の住宅との比較

南門衛の門衛室は佐藤功一設計の足立邸(1933年)に見られるような八角形を半分にした形状で計画されていた。北門衛も東・西・北の3方向に出る出窓が計画されている。このことは透視図(図3 図面⑦)で確認することができる。門衛室と他の生活空間との違いを意匠的にも表現しようとしていたと考えられる。実際に建った南門衛は当初の計画より控えめの表現になっているが、窓形状や、漆喰に下見板張りの腰壁のある外壁が、佐藤功一設計の林屋邸(1935年)と類似している。

##### 3) 教師館・寄宿舎との関係

教師館は木造2階建の教師用住宅で敷地内に5棟<sup>注3)</sup>、寄宿舎はRC造3階建てで2棟建てられた。<sup>注4)</sup> 教師館と南門衛は切妻屋根で、玄関・水周り部が下屋となっている構成や、竣工時の外部仕上げが瓦葺、腰杉板張、腰上白色モルタル塗りであることなど共通点が多い。北門衛は小規模な建物でありながらRC造で計画されていたことから、隣接する寄宿舎用の門の門衛として意匠に関連性を持たせようとした意図が読み取れる。

#### 5. まとめ

佐藤功一の住宅作品は限られており、大正から昭和5年まではRC造・CB造が多い。南門衛は足立邸や林屋邸といった後年の佐藤功一の木造住宅作品を想起させる要素を持っている。南門衛・北門衛は結果的に同じ構造・仕上げで建てられたが、当初南門衛は教師館用の門の門衛所として、北門衛は寄宿舎用の門の門衛所としてそれぞれの建物の意匠に調和するよう計画されていたと考えられる。

【謝辞】 現地調査と資料提供にご協力いただいた津田塾大学管理課・津田梅子資料室に御礼を申し上げます。

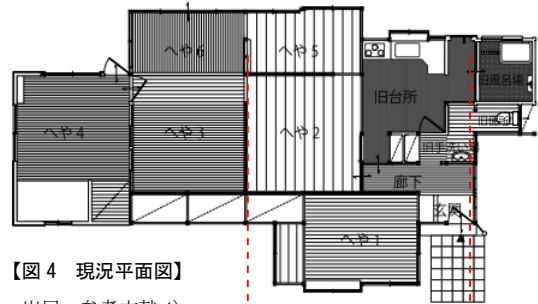
【注】 <sup>1)</sup> 津田塾大学管理課へのヒアリングによる。 <sup>2)</sup> 100年史によると南衛12.4坪、北門衛12.5坪 <sup>3)</sup> 1棟現存 <sup>4)</sup> 2棟とも現存 学生寮として使用

【参考文献】 注記なき図面は津田塾大学提供

- 1) 津田塾大学100年史 学校法人津田塾大学 2003年3月
- 2) 佐藤功一博士 田辺泰, 猪野勇一 1953年 3) 住宅と庭園 第一巻第八号 1934年12月 4) 津田塾大学旧南門衛実測調査報告書 早稲田大学創造理工学部建築史研究室 2012年10月

- \*1 佐藤総合計画
- \*2 佐藤総合計画・博士(工学)
- \*3 早稲田大学理工学術院教授・博士(工学)
- \*4 早稲田大学理工学術院助手・修士(建築学)
- \*5 早稲田大学大学院創造理工学研究科修士課程

- \*1 AXS SATOW INC.
- \*2 AXS SATOW INC., Dr. Eng.
- \*3 Prof., Faculty of Sci. and Eng. Waseda University, Dr. Eng.
- \*4 Research Associate, Faculty of Sci. and Eng. Waseda University, M. Arch.
- \*5 Master Course Student, Graduate School of Created Science & Engineering, Waseda University



【図4 現況平面図】

出展：参考文献4)

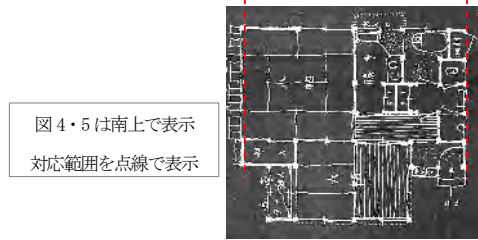


図4・5は南上で表示  
対応範囲を点線で表示

【図5 女子英学塾教師館側門衛住宅 平面図】(図面③)

【表3 増築の変遷】

	②	③	④	⑤	⑥	
室名	門衛住宅 新築工事 設計図	教師館側 門衛住宅 平面図	南門衛平面図	南門衛平面図	南門衛 (第5倉庫) 設計図	確認事項
			風呂場(増築)	風呂場	風呂場	
厨房	勝手		台所(改修)	台所	台所 (一部増築)	小屋裏に妻壁 ③で台所の範囲は半縁天井 ③で風呂場の範囲にRC腰壁
浴室	風呂場					
便所	手洗い場 便所	便所(改修)	便所	手洗い場		
玄関	玄関	玄関	玄関	玄関	玄関	外壁面に横戸付円形窓 障子窓設置・取付
廊下	廊下	廊下	廊下	廊下	廊下	北側出窓に窓袋(アルミ)天井 仕上げの上部に半縁天井
門衛室	六帖	六帖	六帖	六帖	へや1	天井仕上げの上部に半縁天井 床板の下にさらに床板
八帖	八帖	八帖	八帖	八帖	へや2	コンクリート布基礎 妻壁のある 風気窓(へや2側と一体)
			六帖・押入れ (増築)	六帖	へや3	小屋裏に妻壁(へや2-3間)
			廊下(増築)	廊下	へや4	木製積ガラス引戸の建具が 間仕切室内に設置 小屋裏 に妻壁(へや2-4間)
					へや5(増築)	北側廊下に柱の疵
					へや6(増築)	北側廊下に柱の疵
工事完成	1931年2月	1931年8月	不詳	1963年7月	不詳	
図面作成	1931年2月	不詳	不詳	2009年10月		
面積	12.4坪 (100年史)	12.4坪 (100年史)	18.75坪 (建物点検)	23.75坪 (建物点検)	29.61坪 (調査案)	



【図6 林屋邸】 出展：参考文献2)



【図7 第4教師館】 現存せず 出展：参考文献3)